

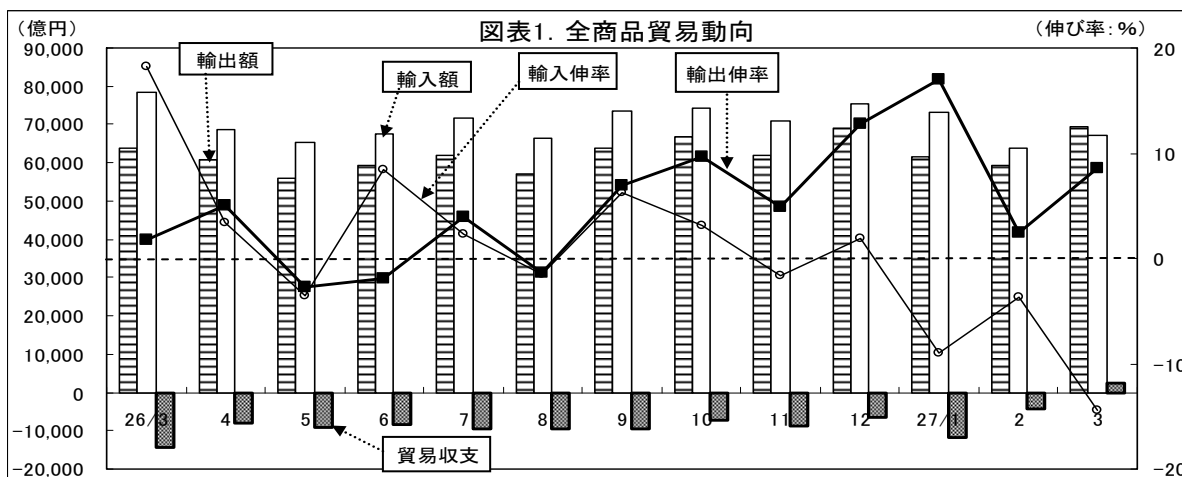
最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出伸び率7ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.5.21.

平成27年3月の機械輸出額は4兆4,986億円、対前年同月比9.5%増と、7ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①ドル高が進んだこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約33%を占める自動車をはじめ、産業機械、電子デバイス等がプラスになったことなどによる。為替要因と営業日要因を合わせて19.8%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は8.6%減と2ヶ月連続でマイナスとなった。2015年4月は為替要因を考慮すると8.7%の増加要因となり、仮に3月の機械輸出額の実質的伸び(8.6%減)が続くとすれば、前年比0.6%減と予想されたが、5月13日発表の貿易統計速報によれば4月上中旬の全商品輸出は6.2%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は7ヶ月連続でプラス、貿易収支は33ヶ月ぶりの黒字～

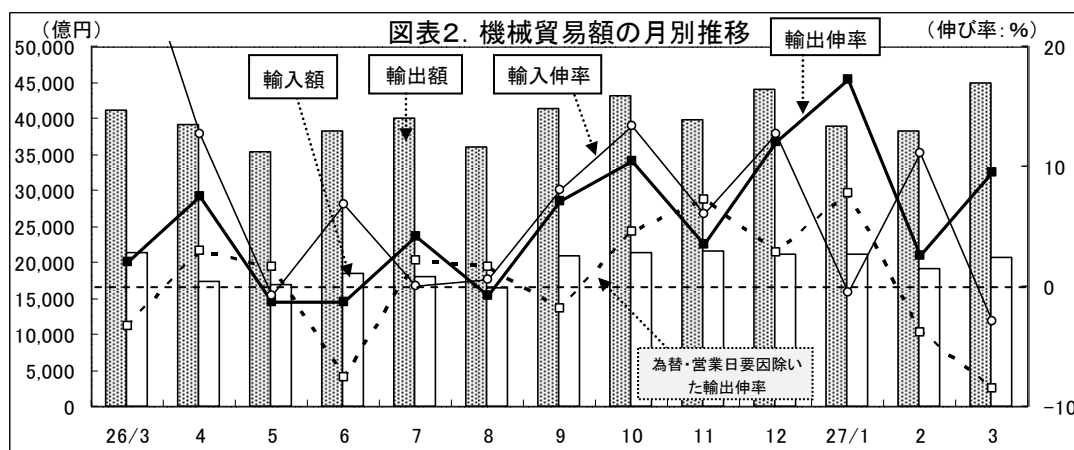
- 平成27年3月の全商品輸出額は**6兆9,268億円**、前年同月比(以下同じ)**8.5%増**と7ヶ月連続でプラス成長となった(2月2.5%増)。これは、全輸出額の約21%を占める一般機械(10.3%増)や、23%の自動車等輸送用機器(10.1%増)、17%の電気機器(8.5%増)等が増加したためである。
- 輸入額は**6兆6,994億円**、**14.5%減**と3ヶ月連続でマイナスとなった(1月3.6%減)。これは、全輸入額の約26%を占める原粗油等鉱物性燃料(36.5%減)が原油価格下落で大幅に減少したことに加え、約9%を占める一般機械(5.8%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(3.5%減)が減少したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2,274億円の黒字となった(2月は4,250億円の赤字)。貿易収支が黒字となったのは、平成24年6月以来33ヶ月ぶりである。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は7ヶ月連続でプラス、輸入は再びマイナスへ～

- 全商品輸出額の約65%を占める3月の機械輸出額は**4兆4,986億円**、**9.5%増**と7ヶ月連続で拡大し(2月2.5%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2008年3月)と比べると**85.6%**となり、前月に比べて4.9ポイント改善した(2月80.7%)。
- 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**2兆655億円**、**3.0%減**と再びマイナスとなった(2月11.0%増)。リーマンショック前(2008年3月)の水準と比較しても20.6%増となっている。

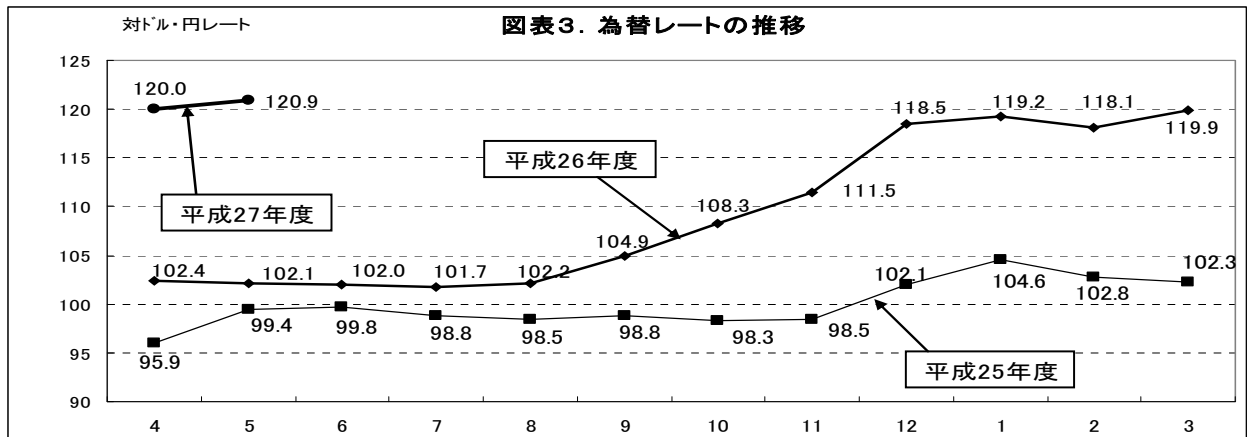


(2) 為替動向・営業日～3月は19.8%の増加要因、4月は約8.7%の増加要因～

1) 3月は1ドル=119.9円となり、前年に比べ17.2%の円安となった。また、対ユーロは133.4円と前年に対して5.3%の円高となり、合わせて約8.9%の為替増加要因となった。営業日は前年より2日多いため、10.0%の増加要因となり、合計で約19.8%の増加要因となる。3月の輸出額は9.5%増であったことから、実質的伸び率は8.6%減と2ヶ月連続のマイナスとなった(2月3.8%減)。

2) 4月は1ドル=120.0円で前年比17.2%の円安、対ユーロでは129.2円で前年比8.6%の円高となり、合わせて約8.7%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約8.7%の増加要因となる。

3) 5月は、対ドルが5月20日17:00時点の120.9円とすれば、前年に比べて18.4%の円安、また、対ユーロは134.2円で5.0%の円高となり、合わせると約9.6%の為替増加要因となる。営業日は前年より2日少ないため、10.0%の減少要因となり、合計で約1.4%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～全地域向けでプラス、北米、ASEAN・南アジア向けが二桁増～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①25.5%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の46%を占める自動車(23.1%増)をはじめ、産業機械(15.9%増)、航空機部品(18.6%増)、建設機械(62.4%増)等が大幅に増加して21.7%増となった。②次に伸びたのは、15.9%を占めるASEAN・南アジア向けで、パキスタン(78.1%増)、ベトナム(58.0%増)、フィリピン(36.0%増)、シンガポール(28.1%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の23%を占める自動車(18.7%増)に加え、電子デバイス(16.5%増)、船舶(2.5倍)等が増加して16.9%増となり、③9.6%の韓国・台湾向けは、重電気機械(6.0%減)、軽電気機械(4.4%減)が減少した一方、自動車(40.3%増)、電子デバイス(18.3%増)がプラスとなって8.8%増となった。④10.8%のEU向けでは、32%を占める自動車(7.7%増)をはじめ、産業機械(5.6%増)、軽機械(7.4%増)等が増加して5.9%増となり、⑤18.8%を占めるその他地域向けは、ロシア東欧等(31.2%減)、大洋州(8.3%減)向けがマイナスとなったものの、アフリカ(32.4%増)、中近東(19.0%増)等向けが大きくプラスとなり、機種では船舶(19.3%減)が大きく減少したものの、全体の58%を占める自動車(2.4%増)、産業機械(45.7%増)等が増加して1.8%増となった。⑥19.5%の中国向けは、全体の13%を占める自動車(24.0%減)が大幅に減少したものの、電子デバイス(12.3%増)、軽電気機械(13.8%増)、産業機械(2.6%増)等が増加して0.5%増と、ほぼ横這いとなった。

2) また、リーマンショック前の2008年3月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア向けが100%を超えたものの、中国、北米向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/1			2015/2			2015/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,951	17.2	100.0	38,284	2.5	100	44,986	9.5	100.0	0.86
北米	9,900	15.6	25.4	10,154	13.9	26.52	11,475	21.7	25.5	0.96
中国	7,911	31.2	20.3	6,631	▲15.6	17.32	8,759	0.5	19.5	0.97
ASEAN・南アジア	6,020	26.2	15.5	6,211	15.4	16.22	7,145	16.9	15.9	1.14
EU	4,722	8.2	12.1	4,441	2.7	11.6	4,848	5.9	10.8	0.56
韓国・台湾	3,628	21.2	9.3	3,416	▲0.8	8.922	4,321	8.8	9.6	0.84
その他	6,769	4.0	17.4	7,431	0.3	19.41	8,438	1.8	18.8	0.74

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2014/12		2015/1		2015/2		2015/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,133	22.5	1,947	32.3	1,847	2.0	2,289	12.3
台湾	1,993	2.9	1,681	10.5	1,569	▲ 3.9	2,031	5.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,800	4.8	1,661	19.0	1,677	7.4	1,740	1.1
シンガポール	931	11.8	1,043	39.8	959	9.2	1,242	28.1
インドネシア	851	▲ 8.7	650	▲ 14.2	762	0.7	903	5.6
マレーシア	749	▲ 2.3	644	10.4	728	8.1	824	2.8
フィリピン	636	30.0	569	27.2	593	15.6	722	36.0
ベトナム	794	64.3	720	125.4	720	77.1	765	58.0
インド	472	26.2	336	6.1	371	17.0	490	13.5
パキスタン	145	34.1	86	18.1	110	13.2	150	78.1
その他地域								
中南米	2,344	18.2	1,977	5.1	2,442	5.3	2,742	3.1
中近東	2,451	27.9	1,715	5.4	2,120	14.7	2,490	19.0
大洋州	1,020	2.2	1,205	11.8	1,167	8.3	1,193	▲ 8.3
ロシア東欧等	812	▲ 23.4	978	▲ 26.7	1,024	▲ 25.1	1,002	▲ 31.2
アフリカ	676	15.8	950	55.9	685	▲ 15.8	954	32.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～21 業種中マイナスは 2 業種、電子デバイス等 12 業種が二桁以上の伸び～

- 1) 業種別では、全 21 業種中 2 業種がマイナスとなり、前月より 4 業種減少した。業種では、全体の約 33%を占める自動車(9.1%増)が 4ヶ月連続でプラスとなり、18%の産業機械(9.8%増)が 7ヶ月連続、7%の電子デバイス(12.7%増)が 8ヶ月連続のプラスとなり、工作機械(32.9%増)、航空機部品(20.7%増)、通信機械(21.6%増)、医療機械(21.8%増)、農業機械(35.4%増)、鉄道車両(2.9 倍)が 20%以上の成長となった。
- 2) この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、医療機械、ベアリング、軽機械、光学機械、工作機械、農業機械、重電気機械の 9 業種で前月より 3 業種増加し、他方、民生用電子機械、産業車両が 40%台、電子計算機が 50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/1			業種名	2015/2			業種名	2015/3			対08/3 比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	12,915	10.2	33.2	自動車	13,637	4.9	35.6	自動車	14,879	9.1	33.1	0.82
産業機械	6,662	21.0	17.1	産業機械	6,729	1.2	17.6	産業機械	8,191	9.8	18.2	0.998
電子デバイス	3,166	24.3	8.1	電子デバイス	2,939	10.4	7.7	電子デバイス	3,275	12.7	7.3	0.82
船舶	2,139	35.5	5.5	軽電気機械	1,902	0.9	5.0	重電気機械	2,249	3.6	5.0	1.03
軽電気機械	1,941	23.7	5.0	重電気機械	1,834	0.5	4.8	軽電気機械	2,190	4.5	4.9	0.83
重電気機械	1,937	23.8	5.0	軽機械	1,451	1.1	3.8	船舶	2,042	10.1	4.5	0.68
軽機械	1,496	22.3	3.8	民生用電子機械	1,362	2.5	3.6	軽機械	1,712	10.6	3.8	1.19
光学機械	1,478	23.5	3.8	光学機械	1,296	▲ 1.7	3.4	民生用電子機械	1,540	▲ 2.2	3.4	0.47
民生用電子機械	1,476	22.5	3.8	船舶	1,289	▲ 27.2	3.4	光学機械	1,531	3.6	3.4	1.16
建設機械	918	6.7	2.4	建設機械	990	9.9	2.6	建設機械	1,299	11.8	2.9	0.67
工作機械	869	40.1	2.2	工作機械	868	17.2	2.3	工作機械	1,209	32.9	2.7	1.16
航空機部品	737	▲ 6.0	1.9	航空機部品	743	22.5	1.9	航空機部品	850	20.7	1.9	2.18
通信機械	520	13.8	1.3	通信機械	508	8.5	1.3	通信機械	644	21.6	1.4	0.70
電子計算機	452	15.1	1.2	電子計算機	476	17.6	1.2	医療機械	575	21.8	1.3	1.28
医療機械	415	36.2	1.1	医療機械	439	19.0	1.1	電子計算機	551	11.2	1.2	0.51
ベアリング	405	13.8	1.0	ベアリング	402	3.9	1.1	ベアリング	455	14.1	1.0	1.23
陸用内燃機関	340	10.3	0.9	陸用内燃機関	356	▲ 5.0	0.9	陸用内燃機関	424	3.1	0.9	0.89
農業機械	166	15.9	0.4	繊維機械	178	▲ 42.0	0.5	農業機械	248	35.4	0.6	1.09
繊維機械	137	▲ 16.6	0.4	農業機械	177	8.5	0.5	繊維機械	190	▲ 37.5	0.4	0.67
産業車両	108	5.0	0.3	産業車両	119	▲ 5.9	0.3	産業車両	130	1.8	0.3	0.49
鉄道車両	72	4.7	0.2	鉄道車両	34	▲ 31.1	0.1	鉄道車両	128	192.0	0.3	1.51
21業種合計	38,347		98.4	21業種合計	37,729		98.5	21業種合計	44,312		98.5	0.86

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジタルカメラ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～鉄道車両、通信機械部分品、農業機械、工作機械等大幅増、繊維機械等大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域、EU、中国向け**鉄道車両**(2.9倍)、②中国向け**通信機械部分品**(37.5%増)、③北米向け**農業機械**(35.4%増)、④ASEAN・南アジア、中国、北米向け**工作機械**(32.9%増)、⑤北米、中国、韓国・台湾向け**電動機**(23.3%増)、⑥その他地域、北米、ASEAN・南アジア向け**受信変換その他送受信**(22.0%増)、⑦北米、中国、EU向け**医療機械**(21.8%増)、⑧北米、中国、EU向け**産業用ロボット**(21.5%増)、⑨北米向け**航空機部品**(20.7%増)、⑩北米、ASEAN・南アジア、中国向け**金属加工機械**(20.6%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(37.5%減)、デジカメ・ビデオ(26.0%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/1			2015/2			2015/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	115	106.2	通信機械部分品	223	29.0	鉄道車両	128	192.0
時計	97	54.4	航空機部品	743	22.5	通信機械部分品	286	37.5
電池	232	51.7	医療機械	439	19.0	農業機械	248	35.4
工作機械	869	40.1	電子計算機	476	17.6	工作機械	1,209	32.9
医療機械	415	36.2	工作機械	868	17.2	電動機	177	23.3
船舶	2,139	35.5	貨物自動車	897	13.6	受信変換その他送受信	181	22.0
デジカメ・ビデオ	385	33.5	その他の配電制御装置	812	13.3	医療機械	575	21.8
金属加工機械	269	31.9	受信変換その他送受信	131	13.1	産業用ロボット	168	21.5
電動機	150	31.2	電池	212	10.5	航空機部品	850	20.7
その他の重電気機器・部分品	491	29.9	電子デバイス	2,939	10.4	金属加工機械	415	20.6
機種合計	5,161	* 13.3%	機種合計	7,740	* 20.2%	機種合計	4,237	* 9.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター
 その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品: 重電気機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/1			2015/2			2015/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	137	▲ 16.6	繊維機械	178	▲ 42.0	繊維機械	190	▲ 37.5
機種合計	137	* 0.4%	発電機	92	▲ 31.7	デジカメ・ビデオ	339	▲ 26.0
			鉄道車両	34	▲ 31.1	その他の重電気機器・部分品	498	▲ 13.9
			船舶	1,289	▲ 27.2	機種合計	1,027	* 2.3%
			半導体製造装置	1,187	▲ 13.6			
			その他の重電気機器・部分品	427	▲ 12.2			
			機種合計	3,207	* 8.4%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～再びマイナス。電計算機、携帯電話等が大幅減～

1) 3月の機械輸入伸び率は3.0%減と再びマイナスとなった。自動車部品(11.1%増)や受信変換その他送受信(10.7%増)がプラスとなったものの、輸入上位機種の電子計算機(21.9%減)、携帯電話(11.5%減)等が大きくマイナスとなったことによる。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、医療機械、受信変換・その他送受信、白物家電、配電機器、時計、通信機械部分品、TVとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の38%を占める中国(16.5%減)、ASEAN・南アジア(14.3%増)、北米(18.5%増)、EU(8.4%減)、韓国・台湾(10.3%増)、その他地域(7.9%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2015/1				2015/2				2015/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,625	1.8	12.4	電子デバイス	2,406	14.4	12.6	電子デバイス	2,652	0.6	12.8
電子計算機	2,108	▲ 16.9	9.9	電子計算機	1,919	▲ 4.6	10.0	電子計算機	2,047	▲ 21.9	9.9
携帯電話	1,316	▲ 7.3	6.2	携帯電話	1,178	3.6	6.1	携帯電話	1,416	▲ 11.5	6.9
自動車部品	1,216	4.0	5.7	自動車部品	1,140	23.9	5.9	自動車部品	1,180	11.1	5.7
航空機・部品等	1,191	9.9	5.6	航空機・部品等	718	▲ 4.3	3.7	乗用車	1,058	▲ 2.1	5.1
乗用車	946	2.2	4.5	医療機械	695	0.6	3.6	航空機・部品等	1,050	▲ 1.1	5.1
白物家電	738	▲ 7.7	3.5	白物家電	686	15.5	3.6	医療機械	733	▲ 10.9	3.5
医療機械	639	▲ 3.5	3.0	乗用車	684	▲ 30.1	3.6	受信変換その他送受信	638	10.7	3.1
配電機器	607	▲ 0.5	2.9	受信変換その他送受信	560	9.7	2.9	白物家電	594	▲ 20.9	2.9
受信変換その他送受信	596	▲ 4.3	2.8	配電機器	540	23.5	2.8	配電機器	540	1.1	2.6
その他の配電制御装置	445	19.1	2.1	その他の配電制御装置	375	43.7	2.0	その他の配電制御装置	400	18.1	1.9
コンデンサー等部分品	394	▲ 6.2	1.9	風水力機械	338	28.0	1.8	風水力機械	351	13.7	1.7
12機種合計	12,821		60.5	12機種合計	11,239		58.6	コンデンサー等部分品	347		1.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信: ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等